



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

新たな労働力として期待される「協働ロボット」は、 社会や暮らしに寄り添う存在になりうるか？

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

人気の記事 よく読まれている記事！

1 2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
100283Views
OTEMON VIEW編集部

2 2022.10.07 社会と暮らし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
69252Views
OTEMON VIEW編集部

3 2021.03.05 社会と暮らし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
34567Views
OTEMON VIEW編集部

4 2022.12.20 社会と暮らし
元マルサの指揮官が語る「国税専門官」の仕事とキャリアパスのリアル。
31683Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

労働力不足や後継者不足に悩まされている中小の製造業を中心に、「協働ロボット(英: Collaborative Robot(s): Cobot)」への期待が高まっています。協働ロボットとは文字通り「人と“協”調して“働”く」ロボットであり、従来型の「産業ロボット」の発展系です。

今回は人に役立つロボット研究を専門とする土井正好教授が新たな労働力として期待される協働ロボットの現状や課題を解説します。

(以下は主なポイント)

産業ロボット大国・日本のロボット開発

- 大企業向けの産業ロボットと、中小企業向けの協働ロボット
- 協働ロボット開発はベンチャーが優勢

働き手としてのロボットに、ヒトは何を求めるのか

- 産業ロボットと協働ロボットはガラケーとスマホのような関係
- 協働ロボットの導入事例から見えてくる課題とは？

協働ロボットとの共生で描く未来

- ロボットを活かすトータルデザインの考え方
- システムインテグレーターとなる人材の必要性

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/3451/>



人と同じ空間で作業可能な協働ロボットのイメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL : 072-641-9590

仲西・織田